

すまいる



発行 医療法人 喜多岡医院 2016 冬号 平成28年1月7日発行

院長通信



院長 喜多岡雅典

政府は10年後をめどに、地域包括ケアシステムを完成させようとしています。掲げる理想としては、住み慣れた地域(中学校区程度のエリア)の中に、医療・看護・介護を一体的に連携して生活ができるようにとのことです。大変結構な理念なのですが、本音はふくれあがる社会保障費、医療・介護・福祉について、最小限度の公的給付に抑える意図が見え隠れしています。高齢者に高額な医療を受けさせないようにするための方便であることも明らかです。出来るだけ入院をさせないで、安上がりの在宅医療・看護・介護を、現場に丸

投げしようとしています。ところが最近では、核家族化・単身世帯の増加・高齢独居など、家庭内で家族の面倒を見る能力がないために、本当に老後の生活が確保できるのかどうか心配です。天王寺区は、高度医療を担う病院は苦勞ませんが、特別養護老人ホームは少ないですし、往診や訪問診療が出来る医療機関も不足しています。大病院に入院すれば、基準看護(いわゆる完全看護)が受けられるので、患者さんにとってはとても助かるのですが、今後は医療費問題で高度な手術が必要な場合のみ入院でき、それ以外はすべて自宅で済ませることを考えているようです。今後は、好むと好まざるに関わらず地域の在宅資源を最大に利用しながら、各職種の連携チームを作っていくよう迫られています。

スタッフ通信

中学生の頃まで、お正月が来る度に父の実家である高知県香美市へ。夜になるとみられる、満点の星空が大好きでした！そして親戚の叔父さん達に交じって、一緒に花札で盛り上がっていた記憶があります(^)！負けてもちろん“子供はお金ないからパス～笑”と逃げていました！

Ns. 西岡



豆知識川柳コーナー

頼むから
咳が出るなら
マスクして！



咳エチケットにご協力ください
マスクをして感染予防しましょう！



